

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第54号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

東風季報

発行 東北風景写真家協会 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-1-8 パルシティ仙台1階F号 東北カラーデューブ株式会社榴岡店内 Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142 編集 進藤・阿部

第15回総会とセミナー開催中止のお知らせ

「東風季報」第53号に第15回総会及び椎名亮介顧問によるスライド&トークセミナー開催の準備を2021年1月23日(土)午後1時〜6時に戦災復興記念館4階研修室にて進めている旨、掲載いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響は収まる様子が見えず、最近では本年過去最大の感染者数が報告され、益々不安が広がっております。その様な厳しい環境にありますので、

協会企画 鳥海山麓撮影ツアー報告

鳥海山麓撮影旅行は10月13日〜14日と当初の予定通り実施しました。コロナ禍で参加人数が危ぶまれましたが、感染防止対策を万全にして無事実行することができました。竹内会長以下関係者の皆様のご配慮と参加された皆様のおかげで、誠に感謝いたします。法体の滝 水量豊富で紅葉は始ま

日本海に沈む雄大な夕日は、仁賀保高原の高台からの撮影。大きな太陽が雲間からその姿をのぞかせながら海に沈むところを予想し、その通りで雲間に見える隠れる日輪と色鮮やかな雲の姿や光彩を心行くまで、シャッターを切りま



元滝の光景：秋葉会員

鳥海山と奈會谷の展望翌日、銚立からの鳥海山と奈會谷の展望は、逆光で撮影は難しい状況でしたが、ハーフNDフィルターを使用しながらチャレンジャーしている会員もおり技術力に感服。少し登ったところのポイントには素晴らしいポイントに聞きま

新春の富士山撮影ツアー

- 「世界遺産 霊峰富士」撮影ツアーを実施予定です。撮影予定地は次の通りです。
◆撮影予定地は次の通りです
・山中湖 厳尊なダイヤモンド富士と壮麗な紅富士風景
・忍野 日本の原風景、茅葺家屋と富士風景
・朝霧高原 広大な原野と富士風景
・水ヶ塚公園 宝永噴火口を抱くダイナミックな富士
・田貫湖 眼前の富士夕景、夜景、星空、早朝霊峰風景
◆旅行期間 2021年1月26日〜28日
2泊3日
◆宿泊地 26日(火) フォレストリゾート山 中湖秀山荘 27日(水) 田貫湖 休暇村富士



進藤会員



笹原会員



阿部会員

申し込みされました会員の皆様には、感染防止対策も万全にして、実行しますので楽しみにお待ちしております。下記に以前に会員が撮影旅行に参加した折に撮影した作品の一部を参考に掲載しました。

お知らせ

河北写真展十宮城芸術祭写真展公募展入賞者 『フォトサミット in Sendai 2020』 JAL賞 小樽山 裕行 自由部門 入選 浅野 功 石川 光江 大滝 善嗣 大友 悦男 大沼友理映 小林 智之 佐藤千賀子 鈴木真知子 東北の音 入選 岩城 剛 大友 紀夫 佐々木かよ 趙 瑞 第57回宮城県芸術祭写真展 宮城県文化振興財団賞 横山 光太郎 受賞おめでとうございます。(敬称略)

お願い

令和2年度年会費の納入のお願い 当協会の各種企画事業や「東風季報」の作成、発行、郵送料等は皆様の年会費にて運営しております。未納の方は、左記いずれかの口座宛至急お振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いいたします。
●七十七銀行旭ヶ丘支店 普通 5272599
●東北風景写真家協会 ゆうちょ銀行 18190
●14388881 トウホクフウケイ シヤシヤンカキョウカイ
●お問い合わせ先 会計担当 孫田幹事宛 090-12360-20973
●《節約術》七十七銀行旭ヶ丘支店のATMでキャッシュカード利用振込で振込手数料無料になります。

デジカメ付き合い18年

進藤弘融

▼私が本格的に一眼レフカメラを使い始めたのは約30年以上前に仙台に転勤になり、勤務先近くのカメラ店で購入したCanonでした。ネガフィルムでの撮影で、現像からプリントまで一切カメラ任せ。その後新潟に転勤になりましたが、新潟を去る時に竹内敏信先生が学長を務める第一回日本海写真学校の開催案内を見つけたので参加しました。その時に初級部門講師として井村淳先生と出会った。そこでボジフィルムについて色々勉強させてもらいました。

▼その後2002年10月仙台に移住し、あちこち出掛けて撮影した画像を見ますと、記念写真的なものばかりで、風景写真的なものは余り見つかりません。しかし、2004年4月の新聞チラシで、当時仙台市営地下鉄泉中央駅の上にあるビルでNHK文化センター仙台・泉教室のネイチャー・フォト教室・会員募集の広告を見つけ、金曜コースのみ募集中との表示で、早速電話にて「デジタル一眼レフカメラでの申込みでも大丈夫か？」と尋ねたところ、受付の女性は「良く分かりませんが、多分大丈夫だと思います。確認して又お電話します」との事。暫くして電話にて「大丈夫のようです。」の連絡を受けて入会申し込みをしました。それが竹内会長との出会いでした。当時、デジタル一眼レフカメラ使用の会員は私一人だけで、他の会員の方はフィルムカメラの方ばかりで、3ヶ月に1回の講座でも一人だけプリントでの提出で指導して貰いました。風景写真は月1回の撮影会に参加して色々撮るようになり勉強しましたが、もっと勉強したいと思い、竹内講師より写真クラブの紹介を得てNHK泉フォトサークルの会員になり、現在に至っています。しかしデジタルカメラの色の出方はイメージでフィルムカメラとの共働での撮影が主になりました。

▼デジタルカメラはその後急速に改良が進み、二コソの新機種が出る度に使用しているカメラを下記取りに出して新機種を合計8機種も買い替え今日に至っています。又、ある方の写真展にてペンタックスの67カメラにハッセルブラッドのレンズを付けて撮影した作品を拝見し、「ショック」を受けました。その方に色々お話を伺うと、「大阪のカメラ店で新品カメラを改造して貰い、ハッセルレンズの映りの良さを生かして撮った作品展示だ。」と教えて頂きました。早速そのお店に連絡を取ると、「今は大変手間は掛かり、大変なので止めている」との事でした。「但し、ペンタックス645カメラにアダプターを使用するとハッセルのレンズを使って写すことが出来る。」と教えて頂き、直ぐにお願いで何本か一緒にお願いして購入し、風景写真を撮影を楽しみました。しかし、その後はデジタルカメラ

の撮像センサーや部品及びレンズ等の技術的な面での改善など、画像編集ソフトもどんどん進化し、私はデジタルカメラが主となる使用状況になりました。

▼各カメラメーカーもフィルムカメラは製造中止する状況に至り、デジタルカメラが主の世界に変わりました。デジタルカメラは写したその場で画像を確認でき大変便利な機能で、私のペンタックス645カメラもデジタルに代え、35ミリ版カメラでも富士フィルムのX-Tシリーズの使用する独自センサー及びミラーレスカメラの大きさや軽さ及び、電子シャッターの無音撮影でシャッターの起き難さに魅せられ、今は富士フィルムのX-T4を2台購入してPost RAW画像撮影及びRAW画像編集ソフト使用による作品創りに熱中し過ぎております。

こんな生き様を何時までも続けて良いのか？？？でも趣味の世界なので楽しめれば良いかと。自己満足世界です。

▼私が本格的に一眼レフカメラを使い始めたのは約30年以上前に仙台に転勤になり、勤務先近くのカメラ店で購入したCanonでした。ネガフィルムでの撮影で、現像からプリントまで一切カメラ任せ。その後新潟に転勤になりましたが、新潟を去る時に竹内敏信先生が学長を務める第一回日本海写真学校の開催案内を見つけたので参加しました。その時に初級部門講師として井村淳先生と出会った。そこでボジフィルムについて色々勉強させてもらいました。

▼デジタルカメラとの出会いは18年前になりました。千葉県に住んでいた2002年6月にニコソから一般カメラマン向けに「D100」が発売され、手軽に写せそうなデジタルカメラに興味をそそられて早速購入しました。搭載しているセンサーは23.7×15.6mmのCCDセンサーで総画素数1,504×1,000、感度は200～1,600相当と小さい容量でした。その当時の画像をビデオ用のBDRディスクに保存したものが有りましたので開いて見ると、いずれもやや露出オーバー気味でした。当時の撮影データをみると、オートでの露出設定で撮影しており、露出オーバー気味の画像が多く視られました。中にはストロボの使用の方が未だ良く分らない方が付けたまま撮影会に参加して色々

撮るようになり勉強しましたが、もっと勉強したいと思い、竹内講師より写真クラブの紹介を得てNHK泉フォトサークルの会員になり、現在に至っています。しかしデジタルカメラの色の出方はイメージでフィルムカメラとの共働での撮影が主になりました。

▼デジタルカメラはその後急速に改良が進み、二コソの新機種が出る度に使用しているカメラを下記取りに出して新機種を合計8機種も買い替え今日に至っています。又、ある方の写真展にてペンタックスの67カメラにハッセルブラッドのレンズを付けて撮影した作品を拝見し、「ショック」を受けました。その方に色々お話を伺うと、「大阪のカメラ店で新品カメラを改造して貰い、ハッセルレンズの映りの良さを生かして撮った作品展示だ。」と教えて頂きました。早速そのお店に連絡を取ると、「今は大変手間は掛かり、大変なので止めている」との事でした。「但し、ペンタックス645カメラにアダプターを使用するとハッセルのレンズを使って写すことが出来る。」と教えて頂き、直ぐにお願いで何本か一緒にお願いして購入し、風景写真を撮影を楽しみました。しかし、その後はデジタルカメラ



千葉公園古代蓮の花

航空祭撮影体験記

高瀬 英雄



今年春早々から見舞われたコロナ禍の生活環境下で多々制約のある日常生活を強いられたいこともあり、撮影意欲も削がれたまま年末が迫り来ました。それ故、手心えのない日々を過ごしてしまいましたので、過去に体験した航空自衛隊松島基地での撮影を顧みて現地での撮影状況を記してみたいと思います。

▼私がこの航空祭に挑戦したのは、東日本大震災後に復活した三年前の8月が最初の出会い体験でした。季節は真夏たけなわの頃で、仙石線の一番電車が始発駅から乗ったのですが、発車時刻の30分前に駅に着いた時には、ホームはすでに電車を待つ人々が群れ集まりごった返しの状態でした。それでもなんとか電車に乗ることができ、荷物もなんとか運ぶことができました。しかし、既に車内は満員状態で吊り革に掴まった手は疲れても下におろせない程の密集状態になっており、昨今のコロナ社会ではあり得ないパニック現象になっていました。

▼分、目的地・松島基地に向け黙々と歩き、基地前の小高い丘に陣取りました。早速撮影準備に取り掛かることができましたが、ここに辿り着くまでには、ネット検索を通して結構なりサーチを要した記憶があります。事例を幾つか挙げてみますと、

*撮影ポイントが多々ある様ですが、移動手段のない私は、感わず基地前の地点をえらびました。

*基地内には入構できず撮影可能ですが、入構する場合は、長さ1メートルを超える物品の携行はご法度なので、三脚使用者は基地内に入れません。

*基地近くの飲食関係店舗はコンビニ二店が一軒あるだけなので、昼食等の飲食物は持参必須です。

▼さて愈々、撮影開始です。最初はブルーインパルスのデモ飛行に始まり、続いて4から5機の編隊飛行に移行し、白煙と爆音を出しながらアクロバットを織りませプログラムが進みます。飛行航路は遠方から眼前に現れ一瞬にして頭上を過ぎ行くので、カメラワークは三脚上で上下と回転を組み合わせて、必死に撮影を続けるのですが、この一連の動きが私に快感を与えてくれるのです。他には屋頂に戦闘機の単独飛行が展開されますが、この飛行は桁違いの爆音を吐いて頭上をかすめるので、耳栓を持参しなかつたことを悔やみました。

▼今年はコロナ社会でイベントは中止になりましたが、来年末に再開されることを願いつつ、楽しみに待ちたいと思います。



ブルーインパルスの飛行

風景写真とデジタル写真15

デジタルカメラ搭載ソフトの活用14

ISO感度の活用

竹内 正

設定になります。一般撮影でも通常はオート設定で良好な撮影ができます。

最近のカメラのソフトは大幅に進歩していますが、問題ありませぬが、上げ過ぎるとノイズが出て画面が劣化しますので上限を設定して下さい。ISO3200位までは問題ありません、カメラによっては25600位まで実用出来る機種もあります、ノイズリダクション機構も搭載されていますが、書き込み時間が長くなる等の弊害が生じますのでお勧めできません。

▼「使用法1」感度を上げる(数字を大きくする)

・暗い所で手持ちで撮影するとき等シャッターを早くして手振れ、被写体ブレを防止したいとき。

・動きの速い被写体の動きを止めて撮影するとき、スポーツ・動物・乗物等。

・被写界深度を深く(近くから遠くまでピントを合わせる)したいとき、風景写真・商品写真等。

▼「使用法2」感度を下げる(数字を小さくする)

・明るい場所で被写体をブレさせて動きを表現したいとき、水の流れ・滝

・動きの速い被写体等、被写界深度を浅くして前後をボカしたいとき、花、物等のクローズアップ・ポートレート等ボケを生かしたいとき。

▼「使用法3」「オート」カメラが自動でISO感度を設定

・オートモード・シーンモード等の使用時に自動設定になり、ISO感度を自動的に調整してくれます。

▼「使用法4」ISO感度による露出補正

・被写体によってはシャッター速度と絞りの値を固定した状態で露出補正を行いたい場合があります(被写界深度・シャッター速度を固定)。露出モードを「M」マニュアルモードに設定、ISO感度を変更して露出補正を行うことが出来ます。

▼「使用法5」ISO感度を上げて

・暗い所で手持ちで撮影するとき等シャッターを早くして手振れ、被写体ブレを防止したいとき。

・動きの速い被写体の動きを止めて撮影するとき、スポーツ・動物・乗物等。

・被写界深度を深く(近くから遠くまでピントを合わせる)したいとき、風景写真・商品写真等。

▼「使用法6」ISO感度を下げて

・明るい場所で被写体をブレさせて動きを表現したいとき、水の流れ・滝

・動きの速い被写体等、被写界深度を浅くして前後をボカしたいとき、花、物等のクローズアップ・ポートレート等ボケを生かしたいとき。

▼「使用法7」ISO感度を上げて

・暗い所で手持ちで撮影するとき等シャッターを早くして手振れ、被写体ブレを防止したいとき。

・動きの速い被写体の動きを止めて撮影するとき、スポーツ・動物・乗物等。

・被写界深度を深く(近くから遠くまでピントを合わせる)したいとき、風景写真・商品写真等。

▼「使用法8」ISO感度を下げて

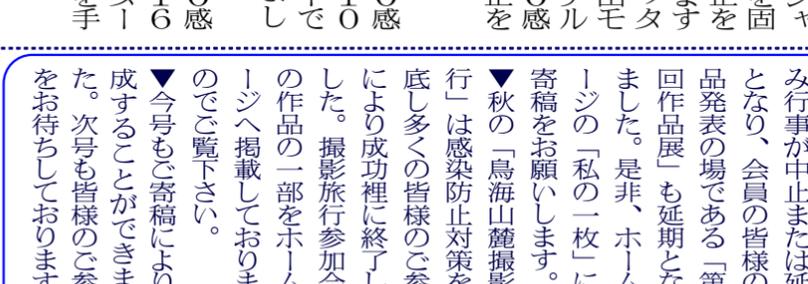
・明るい場所で被写体をブレさせて動きを表現したいとき、水の流れ・滝

・動きの速い被写体等、被写界深度を浅くして前後をボカしたいとき、花、物等のクローズアップ・ポートレート等ボケを生かしたいとき。

▼今年コロナ禍で軒並み行事が中止または延期となり、会員の皆様の作品発表の場である「第7回作品展」も延期となりました。是非、ホームページの「私の一枚」にご寄稿をお願いします。

▼秋の「鳥海山麓撮影旅行」は感染防止対策を徹底し多くの皆様のご参加により成功裡に終了しました。撮影旅行参加会員の作品の一部をホームページへ掲載しておりますのでご覧下さい。

▼今号も寄稿により完成することができました。次号も皆様のご参加をお待ちしております。



「作例写真2」 ISO感度を上げて



「作例写真1」 ISO感度を下げて